

はじめに

戦後の日本における教育指針であった「教育基本法」が、平成18年12月に改正されました。その後、中央教育課程審議会の教育課程部会において学習指導要領改訂の検討がなされ、平成20年1月に答申が出されました。そして、3月に新学習指導要領が告示され、平成23年4月から新教育課程が実施されることになりました。この実施に先立ち、移行措置が行われます。

移行措置は、平成20年6月13日に、文部科学省によって公示された省令、告示、通知によって規定されました。これらの概要をまとめると、移行期間は平成21年4月1日～平成23年3月31日、小学校社会科の授業時間数は現行どおりとされています。また、内容としては、「A 新学習指導要領によることができる」「B 現行学習指導要領による場合には次のとおりとする」とあります。このうち、Bに関わるものとしては、以下のように記されています。

【第3学年及び第4学年】

- ・「県（都，道，府）の様子」については、新学習指導要領の「我が国における自分たちの県（都，道，府）の地理的位置，47都道府県の位置と名称」を付加して指導する。
- ・「県（都，道，府）の様子」については、現行学習指導要領の「産業や地形条件から見て特色のある地域」ではなく、新学習指導要領の「自然環境，伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域」を指導する（この差し替えについては、第3学年で指導する場合には平成21年度と22年度に適用。第4学年で指導する場合には平成22年度にのみ適用）。

【第5学年】

- ・「国土の様子」については、「世界の主な大陸と海洋，主な国の名勝と位置，我が国の位置と領土」を付加して指導する。

小学校社会科に関する移行措置は、Bを下限、Aを上限とする範囲の中で、学校の判断で選択することとされています。ただし、Aを選択した場合には、第3学年を除いて授業時数が増えることとなります。このため、他の教科を視野に入れた検討をする必要があると考えられます。Bを選択した場合には、配当時数を組み替えることで対応することができると考えられます。

本冊子は、時間配当をどうするのか、これをお考えいただく際に役立つよう、現行の学習指導計画案に内容の留意点を付加するとともに、現行の授業時数の枠いっぱい配当時間を示しました。なお、各単元に設けた「もっと知りたい」（従来の資料ページ）、「広げよう深めよう」（学習指導要領の枠を超えた発展的な学習のヒントのページ）については、原則として時間を配当しておりませんが、移行措置にあたって、必要と思われるところには、授業時数を示しました。

本冊子に示した月ごとの授業時数は、あくまでも目安になります。各学校のご事情に応じて、適宜、修正を加えていただければ幸いです。

『小学生の社会』教科書構成の視点

I 新しい学習指導要領の方向性

平成23年度から適用される新しい学習指導要領は、「生きる力」の理念を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視しています。さらに各教科とも、レポート作成などを通じて、思考力や表現力の育成を図ろうとしています。

小学校社会科においては、4年生以上の授業時間数が増え、学習内容の充実が図られました。主なものとして、3・4年で「47都道府県の名称と位置」、5年で「世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置」、6年で「狩猟・採集や農耕の生活」などがあげられます。

II 教科書編集上の基本方針

●教科書の編集にあたって

社会科は、「生きる力」を支える「確かな学力」の育成に、重要な役割を期待されています。

これまで弊社は、探究的な学習という学習方法を掲げて教科書を編集してきました。それは、この学習方法が、児童の探究心を育て、自ら調べ考える力を養い、確かな学力を身につけるのに最適であると考えているからです。そのことは、多くの学校での社会科の授業実践に取り入れられていることから明らかです。

●教科書編集の基本方針

1 楽しみながら学べる教科書に

- 文章を読みやすく、わかりやすくする
- レイアウトをくふうし、児童を引きつける紙面にする
- 作業や体験を重視し、体で覚える学習ができるようにする

2 学び方がわかる教科書に

- 児童自ら、学習の問題をもって探究できる

ようにする

- 調べる力、考える力が身につくようにする
- 学んだことを通して、自分の考えをもつことができるようにする

3 基礎・基本が身につく教科書に

- 情報の収集、選択、読み取りのスキルを高める
- 人権・福祉についての内容を充実させる
- 人間と環境とのかかわりについての内容を充実させる
- 国際理解についての内容を充実させる

●教科書の具体的な特色

1 構成上の特色

①学習の論理を重視

探究的な学習では、自ら問題をとらえ、学習計画を立て、調べ、考えるプロセスを通して、社会的な見方・考え方や情報活用能力を育てます。弊社の教科書は、こうした論理をふまえて全体構成してあります。

具体的には、学習の段階を、「学習の問題をつかむ」「調べる計画を立てる」「調べる」「まとめる」と、大きく4段階で構成してあります。

「学習の問題をつかむ」ページでは、その小単元でどのようなことをとらえさせたいかを十分吟味し、確かな学習の問題をつかませるような導入教材を選択してあります。

「調べる計画を立てる」は、3・4年では、学習の問題を解くために、どのようなことを調べたらよいか、どうやって調べたらよいかを話し合い、調べる計画を立てる例を示してあります。児童の発達段階を考え、5年では調べる計画のページをおかず、調べ方を考える参考として「調べること」を示しました。6年ではそれも省きました。

「調べる」では、本時のねらいと、ねらいに

そして調べ、わかったことのノートを出しています。毎時間のこうした調べ活動の積み上げが、学習のまとめにつながるようにしてあります。

「まとめ」では、学習の問題にそして調べた学習内容の整理欄を設けるとともに、小単元の目標に即した基礎・基本の見方・考え方をとらえる「まとめのことば」を示しました。また、児童が自己評価する表を設け、学習への反省にもとづいて、次時への学習意欲を高めさせるようにしてあります。さらに、小単元の内容に合致したさまざまな活動的なまとめ方を例示し、参考となるようにしました。

②多様な学習形態

探究的な学習では、一斉学習のほかに、さまざまな学習のスタイルが考えられます。学年の発達段階や学習内容を考慮し、分担して調べる学習や、課題を選択してのグループ学習、一人での追究学習など、多様な学習が容易に展開できるように教材を工夫しました。また、「総合的な学習」で活用されているウェビング手法を各学年に一単位ずつ取り入れました。

③「発展的な学習」

各学年の各単元末には、「発展的な学習」をうながす特設ページをおきました。そのうち、「もっと知りたい」は、学習指導要領上、当該学年の〈内容の取扱い〉における制限を越えた内容を扱ったもので、「広めよう深めよう」は、学習指導要領上、当該学年には示されていない内容を扱っています。

2 学習効果を高める工夫

①スキルを高める「学び方教室」

社会科における学び方の基礎・基本を高めれば、児童は楽しく学習を進めていくことができます。このため、棒グラフの作り方や、地図やグラフの読み方、見学・調査の仕方やマナー、年表や新聞などの作り方、ポスターセッションの仕方などを取り上げた「学び方教室」を各所

に設けました。

②学習負担の軽減を図る「ことばのまど」

本文ではなるべくやさしい言葉づかいを心がけましたが、中には、やさしくいかえることが難しい言葉もあります。そうした用語は、「ことばのまど」で、わかりやすく説明しました。

3 内容面での特色

①環境問題

3・4年では、ごみの減量化やりサイクル・資源化、森林が天然のダム役割を果たしていることを取り上げています。環境問題は5年で特に多くのページを割きました。水俣病を例に公害の原点に関する理解から入り、地球レベルの環境問題にまで高めています。工業単元で環境に配慮した生産を取り上げたことはもちろんですが、情報単元でも環境関連の番組づくりの教材を取り上げました。

②人権・福祉の問題

人権尊重の心を高め、すべての差別の解消に努める児童を育てることが肝要です。同和問題についても的確に捉え、差別を許さない心や態度を育成できるように教材を構成しました。

3～5年までは、おもに福祉にかかわる教材を配し、6年では人権を前面に出して構成しました。政治に関する学習では、福祉の具体例である「子ども家庭支援センター」の内容から入るようにしました。日本国憲法の基本的原理である人権の学習では、ハンセン病を教材として取り上げました。

③国際理解

これからの社会では、国際理解を深めることはいっそう重要になります。この教科書では、3・4年において外国や外国人への関心をもたせ、5・6年では外国と日本との関係についての関心を高め、理解を深めさせて、世界の人々と協調できる児童を育てられるよう、教材を構成しました。

学習指導計画の立案

弊社の教科書は、各学年とも、探究的な学習の考え方で構成しています。したがって、学習指導計画も、その考え方にそって立案してください。以下に、立案のためのポイントを示します。

●小単元の目標

探究的な学習は、一小単元一サイクルという考え方が基本です。まず、学習課題をつかみ、調べ、考え、そして最後に学習のまとめをします。ここでどういったまとめの言葉を発してほしいか、それを十分に検討した上で、どのようにしてそれを実現させるか、学習の流れが見えるように、その小単元の目標を定めます。この目標をもとに、各指導時間のねらいを立案してください。弊社の教師用指導書には、その具体例を示しております。

●中心概念の形成

探究的な学習では、「中心概念の形成」を大切にします。児童は、これから学習することについて何らかの認識をもっています。その認識を、小単元の学習を通して変容させ、社会について見たり考えたりする時に生きてはたらく、基本的な知識（＝中心概念）を形成させたいのです。ここで、「知識を獲得させる」とはわずに「形成させる」といっているのは、毎時間の授業で得た知識を積み重ねて、中心概念をとらえさせたいからです。たとえば、3・4年生下巻の小単元「火事から人々をどう守るの」では、「火事を防ぎ、人々を守るために、消防署を中心に関係機関が組織的・機動的に活動している」を中心概念として形成させたいものです。

●教材構造

各小単元において、児童がどのように学習を進めれば中心概念を形成しやすいかを考え、教材を配置します。

たとえば、前述の「火事を防ぎ、人々を守るために、消防署を中心に関係機関が組織的・機動的に活動している」という中心概念を形成さ

せるために、火事や防災訓練の写真、119番がかかってきたときの対応、消防署員の仕事、関係機関との連携、学校や地域の消防施設・設備、消防団の仕事などの教材を、どのような順序で学習過程に位置づけるかを構造図に表します。

その際、各教材で児童にどのような認識をもたせたいか、その認識を深めさせるにはどうしたらよいかも考えて、教材内容の読み取り能力を高める工夫を注記しておきたいものです。

●学ぶ力

学び方や調べ方の指導は、新しい学習指導要領でも強く求められています。社会的事象から事実を読み取ったり、読み取った事実を整理して再構成したり、事実の意味付けをしたりする力、獲得した認識を表現する力、自分と他者との考えを交流するコミュニケーションの力など、これらの能力を育てることが必要となります。

さらに、地図やグラフの読み方、見学・調査・の仕方やマナー、インターネットや手紙を使った調べ方などを身につけさせることも大切です。

●社会科を進める教員として

探究的な学習は、今日の社会が求めている論理性や言語能力、コミュニケーション能力を育てることにもつながります。そこで、教師自身として、次のことを心がけてほしいと思います。

- ・日本や世界の出来事に関心をもつ
- ・多くの人との交流し、体験や経験を積極的に
する
- ・学習指導計画を綿密に立てる
- ・授業記録を取り続けて児童の変容の姿を検証し、さらに指導・支援の工夫を重ねる

第3・4 学年上巻 学習指導計画案

●表現力への対応

各小単元に設けてあるまとめページは、2～3時間扱いになります。新しい学習指導要領で求められている「調べたことや考えたことを表現すること」については、このページでじゅうぶん対応できます。

●第3・4 学年上巻の構成と取り扱い

教科書は、3単元構成としています。

1 「わたしたちのまち みんなのまち どんなまち」

自分たちの住んでいる身近な地域について、観察したり調査したりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができます。新しい学習指導要領での、大きな変更点はありません。現行の教科書構成のままご利用いただけます。なお、方位や地図記号については、p.4～5, p.15で扱っています。

2 「さぐってみよう、人びとのしごと」

地域のスーパーマーケットや工場を見学したり調査したりして調べ、仕事に携わっている人々の工夫や、他地域とのつながりを考えることができます。新しい学習指導要領に対応している箇所としては、「生産」について、p.55～66で工場を、p.68～69で農家を扱っています。「販売」について、p.36～51でスーパーマーケットを、p.52～53で商店を取り上げています。

3 「むかしの暮らし、いまの暮らし」

地域の人々の暮らしについて、文化財や年中行事や、道具の変化などを調べ、人々の暮らしの変化や知恵と、人々の願について考えることができます。この中、p.77や、p.80～83で文化の伝承を取り上げています。

●学習の流れに関する留意点

1 探究的な学習にふさわせる

3年生の子どもたちは、活動的で個性的な表

現を好みます。空間意識も発達し、見方も多面的になります。

この子どもたちに、学習問題をとらえ、調べ考え、表現する力を育てたいものです。

第3・4 学年上巻の教科書は、探究的な学習の手引書といった特色があります。教科書を開くと学習問題をつかませるページがあります。次に、調べる計画を立てるページ、調べる活動を記述したページがあります。小単元の終わりには、子どもたちのまとめの活動例があります。

これらを参考にし、社会事象を観察・調査したり、地図その他の資料を有効に活用したりする、探究的な学習にふさわせたいものです。

2 共に学び合う活動をふやす

子どもたちは、友だちとグループを組んで学ぶことにも興味を示すようになります。グループで調べたり、話し合ったり、作品をつくるなどの活動ができるようになります。

教科書には、それらの活動のヒントを多く載せています。

それぞれの単元で、子どもたちがグループに分かれて調べ活動をしますが、その整理の過程で調べ方やわかったことなどの共有化を図る、学び合う活動を期待しています。

3 活動・体験的な学習の重視

すべての単元の学習で、見学、調査、観察、実体験などの活動を取り入れて、学習するように構成しました。

このような学習を通して、子どもなりに確かな事実認識が育てられます。たとえば、スーパーマーケットでお客へのインタビューをすることで、売る側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて考えることができます。これは、新しい学習指導要領で求められていることにも、応えることになります。

3学期制		単元・小単元	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制		
学期	月	○数字は予定授業時数			月	学期	
1 学 期	4 月	1 わたしのまち みんなのまち どんなまち 25			4 月	1 学 期	
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。			⑤
		1 学校のまわりは、 どんなようすだろう ⑫	●学校の周りの様子 に関心もち、地形 や土地利用、目立つ 建物、交通の様子な どについて調べ、学 校の周りの様子は場 所によって違いがあ ることを考えるよう にする。	○学校の周りの様子の違いを話し合い、学習の 問題をつかむ ② わたしたちの学校のまわりのようすは、ど うなっているのでしょうか。 ○探検の計画を立てる② 調べる事柄：土地の使われ方、目立つ建物、 交通の様子など 白地図に書き込むしるし：土地利用や建物の 表現の仕方など 持ち物、注意事項 等について話し合う。 ○調べる (1) (グループ活動) ③ ◎北コースの探検 ◎南コースの探検 ○調べる (2) (整理) ③ ・一枚の絵地図にまとめる ・地図記号を使って表す ○まとめる② 両グループが作った地図を比較し、土地利 用や建物の様子など、似ているところ違っ ているところを出し合う。さらに、図化しにく い交通の様子などを口頭発表し合い、学校の 周りの様子についての知識の共有化を図る。			
5 月			5 月	38 時 間			
	6 月	2 市のようすは、学 校のまわりとどうち がうの ⑬	●市全体の様子に関 心もち、地形や土 地利用の様子、主な 公共施設の場所と働 き、交通の様子など について調べ、市の 様子は場所によって	○市の航空写真などを見ながら市の様子を話し 合い、学習の問題をつかむ① 市ぜんたいのようすは、どのようになっ ているのでしょうか。 ○調べる計画を立てる② ・調べたい内容ごとにグループをつくる	6 月	⑧	

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
1 学期	6 月	○数字は予定授業時数	違いがあることを考えるようにする。	○調べる (1) (グループ活動) ④	6 月	1 学期
	⑧			<table border="1"> <tr> <td>◎土地の様子 ・市の地図を見て、田畑の分布などを調べる</td> <td>◎市の見どころ ・観光パンフレットを使って、観光名所などを調べる</td> </tr> <tr> <td>◎他の学校のまわり ・電子メールで、ほかの学校の周りの土地利用などをたずねる</td> <td>◎市の施設 ・市役所へ行って、市にある主な公共施設を調べる</td> </tr> </table>		
◎土地の様子 ・市の地図を見て、田畑の分布などを調べる	◎市の見どころ ・観光パンフレットを使って、観光名所などを調べる					
◎他の学校のまわり ・電子メールで、ほかの学校の周りの土地利用などをたずねる	◎市の施設 ・市役所へ行って、市にある主な公共施設を調べる					
25 時間	7 月			○調べる (2) (整理) ④ グループごとに、調べて分かったことを白地図などにまとめる。	7 月	1 学期
	⑤	広げようふかめよう 「市役所のはたらき」		○まとめる② 前時につくった地図などを元に発表し合い、市についての知識の共有化を図る。 ・市役所の仕事 ・市の施設ができるまで	⑤	38 時間
2 学期	2 さぐってみよう、人びとのしごと 26					
	9 月		オリエンテーション	○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度確かめる。	9 月	
26 時間	⑦	1 どこで買うの、そのわけはなんだろう ⑬	●地域に見られる販売の仕事に関心を持ち、スーパーマーケットを例に、それは自分たちの生活を支えていること、また、販売に見られる仕事の特徴や国内の他地域とのかかわりなどについて調べ、その仕事に携わっている人々の工夫を考	○みんなの家では、どの店に買い物に行くことが多いか、買い物調べを行い、それをもとに作成したグラフを見ての話し合いから、学習の問題をつかむ① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">スーパーで買い物をする人が多いのは、どうしてなのでしょう。</div> ○スーパーの探検計画を立てる② ・学習の問題について、答えの予想を出し合う。 ・その予想をもとに、調べ方・調べることを考える。	⑨	

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期	9 月 ⑦		えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○調べる(1) (店の見学) (1)から(3)で④ <ul style="list-style-type: none"> ・店の内外を観察することで、お客が集まる秘密を発見する ○調べる(2) (客へのインタビュー) <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーへ買い物に来るわけをたずねる ○調べる(3) (店の人へのインタビュー) <ul style="list-style-type: none"> ・集客のための工夫(広告・品揃え・環境への配慮・バリアフリーなど) ○調べる(4) (整理) ④ <ul style="list-style-type: none"> ・売場の工夫 ・スーパーに買い物にくるわけ ・店で働く人 ・品物の仕入れ先 ・人と環境に優しいお店の工夫を調べる。 ○まとめる② <ul style="list-style-type: none"> 調べたことから自分なりのまとめの言葉を考え、小グループの中で発表し合う。 これにより自分のまとめを見直し、自己評価する。 	9 月 ⑨	1 学 期
	10 月 ⑦	もっと知りたい 「くらしをささえるいろいろな店」		・様々な業態の店の特色		10 月 前 ④
11 月 ⑥	2 つけものが生まれ たまち、どうしてな の ⑬	●地域に見られる生産の仕事に関心を持ち、つけもの工場を例に、それは自分たちの生活とかかわりがあること、また、生産の仕事の特色や国内の他地域とのかかわりなどについて調べ、仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ○市の特産品などをもとに、市にはどんな工場があり、どのようなものをつくっているかを話し合い、学習の問題をつかむ① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> つけもの工場では、どのようにくふうして、しなものをつくっているのでしょうか。 </div> ○工場見学の計画を立てる② <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを話し合い、見学の計画をまとめる。 ・工場に見学のお願いをする。 ○調べる(見学④)+(整理③) <ul style="list-style-type: none"> ・製品の作り方を調べる ・原料の入手先と製品の送り先を調べる ・その工業が盛んになったわけを調べる ・おいしい漬け物を作る工夫を調べる 	10 月 後 ②	2 学 期	32 時 間

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
	12 月			・環境を守る工夫を調べる ○まとめる③ 調べたことをもとに「つけもの新聞」にまとめる。	12 月	
	⑥	もっと知りたい 「農家のしごとのくふう」		・市で多く作られているいちご ・いちごづくりと出荷までの工夫	⑥	
		3 むかしのくらし, いまのくらし 19				
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して, 児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		
	1 月	1 むかしからのこっているものには, どんなねがいやいつたえがあるの ⑩	●地域に見られる文化財や年中行事に関心を持ち, その様子を調べ, 文化財や年中行事に込められた人々の願いを考慮のようにする。	○市に伝わる代表的な祭りや昔の建物を例に, 昔, この土地に住んでいた人々の願いや言い伝えなどについて話し合い, 学習の問題をつかむ① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">市にのこっている行事や古いたてものには, どのようなねがいやいつたえがあるのでしょうか。</div> ○行事を調べるグループと建物を調べるグループに分かれ, 調べ方を考える① ○調べる⑤	1 月	2 学期 32 時間
	⑦	文化財や伝統行事をく地域の人々が受け継いできたことを指導するという, 新学習指導要領の趣旨は, 現行教科書ですでに満たされている。		◎市で行われる行事とその願い＝観光パインレットで調べる ◎家で行われる行事とその願い＝家の人に聞いて調べる ◎市に残る古い建物や施設と言いつたえ＝その建物の管理者や古老に聞いて調べる	⑦	
	2 月			○まとめる③ 調べたことをアルバムにまとめ, 分かったことを伝え合う。	2 月	
	⑦	2 古い道具をつかっていたころのくらし	●郷土資料館などにある古い道具に関心	○七輪で火を起こす体験を通して, 学習の問題をつかむ①	⑦	

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制				
学期	月				月	学期			
3 学 期	2 月 ⑦	し、いまとどうちが うの ⑨	をもち、それらを使っていたころのくらしの様子について調べ、今のくらしの様子は祖父母のころと大きく変化していること、また、古い道具を使っていたころの人々のくらしの知恵を考えるようにする。	<p>古い道具をつかっていたころのくらしは、どんなようすだったのでしょうか。</p> <p>○調べたい道具を選び、調べる計画を立てる② ・洗濯の道具グループ、台所の道具グループ、暖房の道具グループに分かれて調べる内容や調べ方を考える。</p> <p>○調べる③</p> <table border="1"> <tr> <td>○洗濯の道具を調べる＝道具の名前と使い方、洗濯のどの部分がどのように変わったか</td> <td>○台所の道具を調べる＝道具の名前と使い方、台所仕事のどの部分がどのように変わったか</td> <td>○暖房の道具を調べる＝道具の名前と使い方、現在の暖房とどのように違うか</td> </tr> </table> <p>(注) 可能であれば、古い道具の使用を体験できるとよい。</p> <p>○まとめる③ 道具の年表を作り、くらしの移り変わりをまとめる。</p>	○洗濯の道具を調べる＝道具の名前と使い方、洗濯のどの部分がどのように変わったか	○台所の道具を調べる＝道具の名前と使い方、台所仕事のどの部分がどのように変わったか	○暖房の道具を調べる＝道具の名前と使い方、現在の暖房とどのように違うか	2 月 ⑦	2 学 期 32 時 間
	○洗濯の道具を調べる＝道具の名前と使い方、洗濯のどの部分がどのように変わったか				○台所の道具を調べる＝道具の名前と使い方、台所仕事のどの部分がどのように変わったか	○暖房の道具を調べる＝道具の名前と使い方、現在の暖房とどのように違うか			
3 月 ⑤	<p>もっと知りたい 「市にのこるむかし話」</p> <p>・お話を聞きに行く ・自分たちでお話を開く</p>	3 月 ⑤							

第3・4学年下巻 学習指導計画案

●表現力への対応

各小単元に設けてあるまとめページは、2～3時間扱いになります。新しい学習指導要領で求められている「調べたことや考えたことを表現すること」については、このページでじゅうぶん対応できます。

●第3・4学年下巻の構成と取り扱い

教科書は、4単元構成としています。新しい学習指導要領で、教科書の単元内容とその取り扱いは大きく変わります。その変化に、この教科書は、次のように対応しています。

4 「安全な暮らしを守る仕事」

火災や交通事故から人々の生命や財産を守るために、関係機関がどのように仕事を進めているのか調べ、地域の人々と組織的・協力的な努力や工夫がなされていることを考えることができます。

p.4～19で消防を、p.20～33で警察を扱っていますが、この中、事故防止については、p.17の囲み資料とp.26～27で取り上げています。防犯については、p.30～31で取り上げています。

地域の社会生活を営む上での法やきまりについては、p.27の交通安全教室で対応できます。

5 「健康な暮らしを守る仕事」

安全な飲料水を確保するために、市がどのような仕事を行っているのかについては、p.38～51で、ごみ処理のようすとりサイクルや減量化のようすについては、p.52～67で扱っています。これらの学習を通して、地域の人々と協力しながら健康な生活を営むための努力について考えることができます。

この中、p.53のごみ分別表やそれに関わる本文記述、p.56のごみカレンダーを通しての学習から、社会生活を営む上での法やきまりの大切さについて学ぶことができます。

また、p.46～47では節水を、p.68～69では電気を、p.49では下水も取り上げています。

6 「地いきの先人のはたらき」

地域の発展のためにつくした先人の具体的な活動を調べ、地域の人々の生活が、こうした先人のはたらきや苦心によって向上してきたことを考えることができます。

新しい学習指導要領で強く打ち出された伝統と文化については、p.70、p.84～85で対応しています。

7 「わたしたちの県のように」

自分たちが住む県の地形や産業、交通網などを調べ、人々は地域の特色に応じた仕事や生活をしていることを考えることができます。

新しい学習指導要領の内容に位置付けられた47都道府県の位置や名称に関しては、p.90を活用することで対応できます。また、「地形から見て特色のある地域」に関しては、取り上げる観点を明確にして、3地域を扱うことができます。

●探究活動の展開

第4単元では、多くの災害の中から、児童にとっては比較的身近な災害である火災を取り上げています。

第5単元では、飲料水・電気・ガスの中から飲料水を取り上げ、健康で安全な生活環境の維持の内容だけでなく、資源の有効な利用という観点から、節水も取り上げています。

全体を通して、児童が、自分の生活とのかかわりの中で問題を把握し、観察や見学・調査などの体験的な学習を含んだ探究活動が展開できるように配慮してあります。

これらの学習を実践することで、一人ひとりの児童に「学び方」を身につけさせるとともに、「学ぶ意欲」や「学ぶ喜び」も体得させたいと考えています。

3学期制		単元・小単元	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制			
学期	月	○数字は予定授業時数			月	学期		
1 学 期	4 月	4 安全な暮らしを守る仕事 25			4 月	1 学 期		
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる			5 月	38 時 間
		1 火事から人びとをどう守るの ⑬	●火事から人々の安全を守る活動に関心をもち、消防署を中心とした緊急に対処する体制、火災現場での活動、また、火事に備える消防署の仕事や地域の消防施設、消防団の活動などについて調べ、人々の安全を守る関係諸機関の働きと人々の工夫や努力を考えるようにする。	○火事が起きたときの写真や被害の資料を見て話し合い、学習の問題をつかむ① 火事から人びとを守るために、消防しょやまちでは、どのような活動をしているのでしょうか。 ○調べる計画を立てる② ・予想を出し、話し合う ・調べたいこと ・調べる方法 ○調べる (1) ⑥ (うち見学③) ・119番の連絡のしくみを調べる ・火事の現場での活動を調べる ・火事に備えての活動を調べる ○調べる (2) ② ・学校やまわりの地域の消防施設を調べる ・地域の人たちは、火事に備えてどのように協力しているのか ○まとめる② 火事から人々を守る消防署や関係諸機関の働きについてまとめる。防火ポスターをつくり、まちの人に呼びかける。				
消防団や夜回り活動など、地域の人々の協力が大切であることをしっかりと認識させる。								
25 時 間	5 月				5 月	8		
		2 交通事故から人びとをどう守るの ⑫	●交通事故のない安全なまちづくりに関心をもち、交通事故が起きた時の警察署を中心とした緊急に対処する体制、また、交通事故を防ぐための警察署の活動、交通事故のないまちづくりなどにつ	○交通事故の写真を見たり作文を読んだりして、学習の問題をつかむ① 交通事故のない安全なまちにするために、人びとはどのような活動をしているのでしょうか。 ○調べる計画を立てる① ・予想を出し、話し合う ・調べたいこと ・調べる方法			6 月	8
	p.26-27の指導時にp.3の写真を加え、交通安全への意識を高めさせる。また、交通規則がなぜつくられているのかを考えるを通し							

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
1 学 期 25 時 間	6 月 ⑧	て、「きまり」の必要性を考えさせる。 さらに、交通事故防止や防犯のために、地域の行政との連携や住民の協力も行われていることを的確に認識させる。	いて調べ、人々の安全を守る警察署など関係諸機関の働きと、地域の人々の協力の大事さを考えるようにする。	○調べる (1) ⑦ (うち見学③) ・交通事故が起きたときの警察の活動を調べる ・交通事故を防ぐための活動を調べる ・交通安全のまちづくりを調べる ○調べる (2) ① ・警察署の他の仕事を調べる ○まとめる② 交通事故に対処する警察署の働きや、事故防止に取り組む人々の活動をまとめる。交通安全地図をつくり、発表する。	6 月 ⑧	④
	7 月 ④					
2 学 期 39 時 間	5 健康なくらしを守る仕事 25				1 学 期 38 時 間	9 月 ⑨
	オリエンテーション			○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		
	1 水道の水は、どこからくるの ⑪	水道使用量のお知らせに記載されている水道料金・下水道料金に着目させ、水道を使うにも下水を流すにもお金が必要であることを認識させて、5年次に学習する価格・費用の前提情報の一つとする。	●市の飲料水の確保に関心を持ち、安全で大量の水をつくる浄水場の働きや各家庭に水を供給するしくみ、また、水不足を防ぐ対策や水源地の環境などについて調べ、水道の仕事にかかわる人々の工夫や努力、また、地域や他地域の人々の協力を考えるようにする。	○毎日、大量の飲料水を使っている様子を話し合い、学習の問題をつかむ① 毎日使う、安全で大量の水は、人びとのどのようなくふうや努力によって送られてくるのでしょうか。 ○調べる計画を立てる① ・調べたいこと ・調べる方法 ○調べる (1) ⑤ (うち見学③) ・安全な水道水をつくるしくみを調べる ・水道水を市全体に送るしくみを調べる ○調べる (2) ② ・水不足を防ぐためにどうしているのかを調べる ・水はどこからくるのか水源を調べる ・汚れた水の行方についても話し合う ○まとめる② 安全な水を供給するための工夫や努力につい		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期	10 月	2 そのごみ、どうするの ⑭ 学習問題をつかむ際、ごみの分別やごみを出す日のきまりを守らないとどうなるかを考えさせ、「きまり」に対する認識を高めさせる。	●毎日のくらしから出されるごみの処理に関心を持ち、燃えるごみや燃えないごみ、資源ごみなどのゆくえ、また、市のごみ減らし対策などについて調べ、市のごみ対策は計画的に工夫を加えながら進められていることや、地域の人々の協力が欠かせないことを考えるようにする。	てまとめる。「水滴の旅日記」をつくって発表する。	10 月 前	④
				○毎日のくらしから出るごみにはどんなものがあるか、また、ごみの出し方について話し合い、学習の問題をつかむ② 毎日のくらしから出されるごみは、どのように集められ、しょ理されているのでしょうか。		
	11 月	もっと知りたい 「わたしたちのくらしと電気」	・電気にささえられたくらし ・電気を確保するために	○調べる (2) ③ ・資源ごみの行方を調べる ・ごみをへらす運動について調べる ・その他のごみの処理について調べる ○まとめる③ ごみの処理にあたる環境センターの仕事や減量の努力をまとめる。自分たちでできる「ごみ減らし作戦」のニュースレポートをつくる。	10 月 後	⑤
	⑪	6 地いきの先人のはたらき 10			2 学 期	47 時 間
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		⑫
		1 地いきは、どのように発てんしてきたの ⑩	●地域の発展につくした先人の働きに関心を持ち、那須野原の開発を事例に、土	○地域の人々の生活向上のために働いた先人は、いろいろな分野にいること、とくに地域の開発につくした先人がいることを話し合い、学習の問題をつかむ①		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期 39 時 間	11 月 ⑪		地の状況、先人による飲み水を得るための水路の開発や田畑の水を得るための那須そ水の開発、また、その後の地域の変化について調べ、先人の働きや苦心を考えるようにする。	<p>先人は、どのようなねがいをもち、どのようなくふうや努力をして、きょう土を開いたのでしょうか。</p> <p>○調べる計画を立てる①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想を出し合い、話し合う ・調べたいこと ・調べる方法 <p>○調べる⑤（見学③）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開たく前の人々のくらしを調べる ・飲み水を手に入れるための苦労を調べる ・用水路を作るために努力した人々を調べる ・開たく後の様子を調べる <p>○まとめる③</p> <p>先人の開発の努力について、紙芝居にまとめる。</p>	11 月 ⑫	2 学 期 47 時 間
		もっと知りたい 「地いきの発てんにつくした先人」		<ul style="list-style-type: none"> ・美術館をつくった先人 ・伝染病の予防につくした先人 		
		7 わたしたちの県のようにす 25				
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。	12 月 ⑧	
	1 月 ⑦	<p>1 県のようにすは、どうなっているの ⑮</p> <p>自分たちの県（都道府）の地理的位置の学習に合わせて、47都道府県名と位置を指導する。単に地図帳で名称や位置を調べさせるだけでなく、白地図作業などを通して、各県（都道府）のおよその位置を説明できる</p>	●県の様子に関心をもち、県の位置や形、地形や土地利用、交通網のあらましなどについて調べ、県の特徴を考えるようにする。	<p>○県全体の地形図や人工衛星から見た地図などを見て県の様子を話し合い、もっと詳しく調べることを前提にして、学習の問題をつかむ①</p> <p>わたしたちの県の土地のようすや土地利用、交通のようすなどは、どのようになっているのでしょうか。</p> <p>○調べる⑫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの県（都道府）の地理的位置、47都道府県の名称と位置を調べる ・方位の表し方を調べ、まわりの県や半島、島、県の形などを調べる ・距離の測り方を調べ、主な都市までの距離 	1 月 ⑦	

3 学期制		単元・小単元	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月	○数字は予定授業時数			月	学期
3 学 期	2 月	<p>ようにする。また、 現行の年間計画に比 べて5時間増とし た指導時間のうち2 時間程度を、獲得し た知識の共有化にあ てる。</p>		<p>を測る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の土地の高さを調べ、平野、山地、河川の分布などを表す ・県の土地利用のようすを読み取る ・県の道路、鉄道など交通を調べ、他地域と結ばれていることを考える <p>○まとめる②</p> <p>これまで調べたことをもとにして、県の特徴をカルタにまとめる。</p>		2 学 期
		<p>広げよう深めよう 「県庁のはたらき」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・県庁の仕事 ・県知事の仕事 ・国際交流 		
		<p>2 人びとは、土地にあわせて、どんな暮らしをしているの⑩</p> <p>◎海を生かした暮らし：能登町⑥</p> <p>◎山地を生かした暮らし：白山市白峰地区⑥</p> <p>◎伝とうを生かした産業：能美市⑥</p> <p>伝統的な工業である能美市の九谷焼のほか、豊かな海の自然を守る地域として能登町を、観光の発展に努めている地域として白山市白峰地区を扱う。</p>	<p>●県（都、道、府）内の土地に合わせた人々の暮らしに関心をもち、海を生かした暮らし、砂丘を生かした暮らし、山地を生かした暮らし、伝統を生かした産業について、人々の生活や産業の様子、他地域や外国とのつながりなどについて調べ、県の特徴を考えるようにする。</p>	<p>○県内に見られる、土地利用の様子の写真や、そこで働く人々の写真を見て話し合い、学習の問題をつかむ①</p> <p>人びとは、地形や自然などをどのように生かして、仕事や生活のくふうをしているのでしょうか。</p> <p>○調べる計画を立てる①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主として地形的に特色のある4地域を選び、各地域ごとに、調べたいことがらと調べ方を話し合う <p>○調べる⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループに分かれて調べる <p>◎海を生かした暮らし：能登町</p> <p>◎山地を生かした暮らし：白山市白峰地区</p> <p>◎伝とうを生かした産業：能美市</p>	2 月 ⑧	
		<p>もっと知りたい 「輪島ぬり」って何」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・輪島塗りとは ・輪島塗りができるまで 	3 月 ⑥	

第5学年 学習指導計画案

●表現力への対応

各小単元に設けてあるまとめページは、1～2時間扱いになります。新しい学習指導要領で求められている「調べたことや考えたことを表現すること」については、このページでじゅうぶん対応できます。

●第5学年の構成と取り扱い

教科書は、上巻2単元、下巻3単元の5単元構成としています。

1 「わたしたちのくらしをささえる食料生産」

農業や漁業のさかんな地域のようすや主な農産物の生産地のようすと、食料生産に従事する人々の工夫・努力を調べ、国民生活が自然環境や外国とのかかわりをもって営まれていることを考えることができます。

p.6～23で稲作を、p.24～39で水産業を、p.40～47で野菜や畜産を取り上げています。運輸については、p.18～19、p.36～37で扱っています。価格や費用については、p.6の写真、p.21の囲み資料、p.27のグラフなどを活用できます。

2 「わたしたちのくらしをささえる工業生産」

工業のさかんな地域のようすや我が国の各種の工業生産や工業地域の分布の特色と、工業生産に従事する人々の工夫や努力や生産を支える貿易や運輸のはたらき調べ、それらが国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができます。

p.52～59で工業製品を、p.62～79で自動車工業を、p.80～87で各種の工業生産を取り上げています。価格や費用については、p.64の囲み資料を活用できます。

3 「わたしたちのくらしと情報」

我が国の情報産業や情報化した社会のようすを調べ、国民生活は、さまざまな情報によって大きな影響を受けていることについて考えるこ

とができます。

p.4～15で放送局を、p.16～25で情報の有効な活用を取り上げています。また、p.21で高齢者支援のネットワーク活用を扱っています。

4 「日本の国土のようす」

我が国の国土の広がりや位置、地形や気候のようすを調べて特色をとらえるとともに、自然条件から見て特色ある地域の人々が、自然環境に適応しながら生活していることを考えることができます。

p.30～39で国土のようす、p.30～39で特色のある地域を取り上げています。この中、主な国の名称と位置についてはp.26～27、p.76～77、領土についてはp.32～33で扱っています。また、自然条件から見て特色のある地域についてはp.60～61を、自然災害の防止についてはp.78の囲み資料などを活用できます。

5 「わたしたちのくらしと環境」

公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さや、森林資源の保護と育成は生態系の保全と自然災害の防止につながることを考えることができます。

p.64～73で環境を、p.74～85で森林を取り上げています。この中、今日の社会的課題、特に環境問題については、水俣病から入り、地球レベルの環境にまで話を進めています。

●社会的な見方・考え方

かつての学習では、釜石市や室蘭市は鉄の町として暗記させられたものでした。しかし、現在はどうか。社会の変化に応じて、事柄は変化しているものです。

この教科書では、こうした事柄よりも、不易の知識（社会的な見方・考え方）を分析し、それを、児童の主体的な活動で探究できるように教材を構成してあります。

3学期制		単元・小単元	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月	○数字は予定授業時数			月	学期
1 学期 32 時間	4 月 ⑥	特設ページ「日本ってどんなところ」①			○農業の学習などの前提情報として、国土の気候と地形、人口分布の概要を調べ、こうした自然の中でどのように食料を生産しているのかを話し合う。 ・日本各地の気候の特色 ・人口分布の特色 ・国土の地形の特色と人口分布との関係	4 月 ⑥ 1 学期 47 時間
		1 わたしたちの暮らしをささえる食料生産 25				
	オリエンテーション			○私たちの暮らしと食料生産の関わりについて、見たり聞いたりしたことや知っていることを発表し合うことで、本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		
5 月 ⑩	5 月 ⑩	1 日本の米づくりは、どうなっているの ⑪	●食生活に欠かせない米の生産に関心をもち、山形県庄内平野を事例に、土地や気候などの自然条件、農家の生産の工夫や努力、用水路や水田の働き、品種の改良、流通過程などについて、調査をしたり地図やその他の資料を活用したりして調べ、国民の食料確保に果たす役割や自然環境とのかかわりを考えるようにする。	○消費者はどのような米を求めているかを話し合い、学習の問題をつかむ① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">人気の庄内米づくりは、どのようにおこなわれているのでしょうか。</div> *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる⑨ (1) 庄内平野で米作がさかんなわけ ・庄内平野の自然 (2) 米作農家の人たちの工夫や努力 ・土づくり ・米づくりの一年 ・庄内平野の用水路 ・水田のはたらき ・品種改良 (3) 米の輸送 ・米の保管や管理と出荷 (4) これからの米づくり ・食生活の変化、米の自由化と稲作農家 ・後継者の問題 ・機械化、共同化と米の生産費	5 月 ⑩	
		p.21の囲みにある農業機械の共同購入のことから機械の値段に話を及ぼし、米の生産費や売価に目を向けさせる。				

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
1 学 期	5 月	2 日本の水産業は、 どうなっているの⑨	●日本人の食生活に 欠かせない魚の生産 に関心を持ち、長崎 県の漁港を事例に、 ふえる魚の輸入、沿 岸や沖合での漁業、 遠洋漁業の様子、養 殖業や栽培漁業の工 夫、新鮮な魚を送る 輸送の働きなどに ついて、見学をしたり 地図その他の資料を 活用したりして調 べ、水産業の役割や 自然環境とのかかわ りを考えるようにす る。	○まとめる① 調べたことをもとに、新聞などにまとめる。	5 月	1 学 期
				○水産物の国内の水あげ量と輸入量の変化の資料を見て話し合い、学習の問題をつかむ①		
	32 時 間	6 月	3 食料生産のさかん なところは、どこに 広がっているの ⑤	●食料生産のさかん なところに関心をも ち、米や野菜、くだ ものおもな産地、 畜産のさかんなと ころ、おもな食料の輸 入先などについて、 地図やその他の資料 を活用して調べ、産	○水産物をさかんにするために、どんなふうや努力があるのでしょうか。	48 時 間
				<p>*教科書を参考にして、調べることを考える。</p> <p>○調べる…長崎市の水産業をもとにして⑦</p> <p>(1) 日本人の食事と水産物の輸入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁場に恵まれた日本 ・水産物の輸入 ・魚食の世界的な広まりと資源争奪による魚価の高騰 <p>(2) とる漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの海での漁業 ・遠くの海での漁業 <p>(3) 育てる漁業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養殖業、栽培漁業 <p>(4) 魚の輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新鮮な魚を消費者に運ぶ工夫や努力 <p>○まとめる① 調べたことをもとに、水産業に携わる人々の水産資源を守る努力や、増やす工夫についてまとめる。</p>		
				○給食の献立表を見て、いろいろな食材が使われていることを話し合い、それらはどこでどのように生産されているのか、学習の問題をつかむ。①		
				<p>米や野菜、くだもの、ちく産物などは、どこで、どのように生産されているのでしょうか。</p> <p>*教科書を参考にして、調べることを考える。</p>		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
1	6 月 ⑩		地に特色が見られること、土地や気候などと深いかかわりがあること、世界の国から輸入されている食料も多いことを考えるようにする。	○調べる③ ・米のおもな産地 ・野菜のおもな産地 ・くだものの産地 ・畜産のさかんなところ ・おもな食料の輸入先 ○まとめる① 調べたことから、農産物の産地がどのように分布しているかをまとめる。	6 月 ⑩	
		もっと知りたい 「これからの食料生産を考える」	・食料の自給率 ・農業の使用について ・ハウス野菜の燃料使用について ・食料生産にたずさわる人			
1 学 期 32 時 間	7 月 ⑥	2 わたしたちのくらしをささえる工業生産 22			1 学 期 48 時 間	7 月 ⑥
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		
		1 工業は、人々のくらしをどう変えてきたの ⑥	●工業製品とくらしの変化に関心を持ち、工業の発達と家庭での生活や仕事の変化、国土の交通の変化などについて、調査をしたり資料を活用したりして調べ、工業の発達にもなって、生活や交通の様子も変わってきたことを考えるようにする。	○移動手段の変化や家庭での台所道具の変化などについての写真や父母などからの話をもとに、工業の発達が家庭生活ばかりでなく、農業や水産業を大きく変えたことなどを話し合い、学習の問題をつかむ① 工業は、人々の生活や仕事の様子を、どのように変えてきたのでしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる④（グループでの調べ③＋一斉学習①） ・家庭生活を支える工業製品 ・社会生活を支える工業製品 ・くらしを変えた工業製品 ○まとめる① 調べたことをもとに、工業はくらしや仕事をどう変えたかをまとめる。		

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
2 学期	9 月	2 いま、どんな自動車が求められているのか ⑪ 自動車の開発費や価格にも目を向けさせるとともに、p.76 および p.77 に掲載の自動車の輸出先や外国につくった工場の地図により、主要国の名前と位置を指導する。	●自動車工業を事例に、日本の工業生産に関心を持ち、自動車の開発と生産の様子、関連工場との関係、また、安全や福祉、環境を考えた自動車の開発、諸外国とのかかわりなどについて、見学をした地図やその他の資料を活用したりして調べ、人々の求めに応じて、安全や環境、福祉を配慮した工業製品の開発が進められ、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。	○モーターショーのテーマや新しく開発された自動車の写真をもとに、今、どのような自動車が求められているかについて話し合い、学習の問題をつかむ① 自動車会社では、人々の求めにあった自動車を、どのように生産しているのでしょうか。 ○調べる（見学）⑤ （1）新しい自動車の開発 ・新しい自動車の企画が決まるまで （2）自動車のできるまで ・自動車工場のあるまちのようす ・自動車の生産工程 ・自動車とつながる各種の工業 ○調べる（整理）④ ・自動車の開発費 ・安全や福祉を考えた自動車 危険回避の装置、障害者対応の運転装置 ・環境を考えた自動車 排出ガスの浄化、省エネルギー ・世界とつながる自動車工業 主な輸出相手国、自動車工場の進出先 ○まとめる① 調べたことから、人々の求めにあった自動車をつくる工夫や努力についてまとめる。	9 月	1 学期
	10 月	3 日本の工業には、どんな特色があるのか ⑤	●わが国の工業の特色に関心を持ち、とくにさかんな工業の種類、おもな輸出品、工業のさかんな地域、工業技術などについて、地図や資料、ワークシートなどを活用して調べ、	○日本では、どんな種類の工業がさかんなのかを話し合い、学習の問題をつかむ① 日本の工業は、どのような特色をもっているのでしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる③ ・日本でさかんな工業の種類 ・輸出される工業製品	10 月前	⑤

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期	10 月 ⑩		わが国の工業にはさまざまな特色が見られること、また、高い技術力をもっていることを考えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のおもな輸出品 ・工業のさかんな地域 ・日本の工業技術 ○まとめる① 調べたことをもとにして、日本の工業の特色をまとめる。	10 月 前	1 学 期 48 時 間
		もっと知りたい 「これからの工業生産を考える」		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境を汚さない工業生産 ・再利用を考えた工業生産 ・人にやさしい工業生産 ・ものづくりへの挑戦 		
		3 わたしたちのくらしと情報 13				
36 時 間	11 月 ⑨	オリエンテーション		○自分の身の回りにはどのような情報があるか、その情報はどのようにして自分に届いたのかなどについて話し合うことで、本単元の内容に関して、児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。	10 月 後	2 学 期 42 時 間
		1 ニュースは、どのようにとどけられるの ⑥ 番組制作にかかわる人々の工夫や努力に関する内容を省略する。	●テレビ放送を事例に、ニュースを届ける放送局の活動に関心を持ち、情報の収集、情報の放送、情報を伝える工夫などについて、放送局を見学したり資料を活用したりして調べ、これらの産業は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを考えるようにする。	○テレビの番組表をもとに、テレビでは多くの情報が報道されていることを話し合い、学習の問題をつかむ① テレビの番組にはどのようなものがあり、そこから、どのような情報が得られるでしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる④ (1) 番組づくり ・テーマの決定 (2) 番組の送信 ・早く正確に情報を伝える工夫 ○まとめる① 調べたことをもとに、テレビ番組をいくつかに分類し、そこからどのような情報が得られるかを整理する。		

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期 36 時 間	11 月 ⑨	2 情報は、どのよう に生かされているの ⑦ p.21 の教材をもと に、情報ネットワ ークを有効に活用して いる公共サービスの 事例をていねいに取 り扱う。	●生活や仕事の中での 情報の生かし方に 関心をもち、生活に 生かされる情報、仕 事で生かされる情 報、情報に囲まれた 生活と情報の選択に ついて、取材をし たり資料を活用し たりして調べ、情 報は家庭や社会生 活に深くかかわっ ていること、正し い情報を選択し利 用することの大切 さを考えるように する。	○運動会の日の天気予報によって、家族全員の 行動が影響されることを話し合い、学習の問題 をつかむ① わたしたちは、どのようにして情報を集 め、生活や仕事の中で生かしているの でしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる⑤ ・情報の集め方と生活とのかかわり 新聞で知る社会の動き 新聞への折り込み 広告 テレビニュースとしての天気情報 ・情報の集め方と仕事とのかかわり ・新しい情報通信網を利用した公共サー ビスの仕組み ・情報の選び方 ・情報発信のマナー ○まとめる① 調べたことをもとに、情報と暮らしや仕事 とのかかわりについてまとめる。	11 月 ⑨	2 学 期 42 時 間
		もっと知りたい 「新聞の利用」	・新聞から得られる情報の整理のしかた			
		12 月 ⑦	4 日本の国土のようす 15 オリエンテーション	●わが国の国土の様 子に関心をもち、国 土の広がりや位置、 地形や気候の様子に ついて、地図その他 の資料を活用して調	○日本の位置をどのように言い表したらよ いか、日本の国土はどのような島から成 り立っているかなど、本単元の内容に関し て、児童がすでにもっている知識や理 解度を確かめる。 ○日本列島の地図や写真から国土の様 子に関心をもち、国土の広がりや位置、 地形・気候の特色について調べる計 画を立てる。① 日本の国土の広がりや、地形、気候に はどのような特色があるのでしょうか。	12 月 ⑦

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制			
学期	月				月	学期		
2	12月	⑦	べ、わが国の国土は四つの大きな島からなり、地形や気候のうえて変化のある国であることを考えるようにする。	○調べる⑤ (1) 国土の広がりと位置 ・日本の東西南北端 ・地球上の日本の位置 近隣の国々 (2) 山地や川、平野などの地形の様子 ・山地と山脈 ・川と平野 (3) 気温や降水量などの気候の様子 ・夏と冬の気温 ・四季のうつり変わり ○まとめる① 調べたことをもとにして、国土の自然の特色をまとめる。	12月	⑦		
							2	2
3	1月	⑧	●新潟県十日町市と沖縄県沖縄島の気候とくらしに関心を持ち、気候の違いがもたらす人々の生活や産業の様子の相違について、地図やその他の資料を活用して調べ、気候の違いは人々のくらしに大きな影響をあたえていること、人々は気候の特色を生かして生活や産業を営んでいることを考えるようにする。	○雪国と南国の2月の服装や冷暖房の時期などをもとにした話し合いを通して学習の問題をつかみ、それぞれ調べたい地域を選択する① <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 気候のちがいは、人々のくらしにどのようなえいきょうをあたえているのでしょうか。 </div> *グループに分かれ、それぞれ調べることを考える。 ○調べる⑤ <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 新潟県十日町市 ・気候の特色 ・雪から町を守るくふう ・克雪から利雪へ ・十日町市の産業 </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 沖縄島 ・気候の特色と水不足 ・気候を生かした農業 ・自然や歴史を生かした観光 ・沖縄島のかかえる問題 </td> </tr> </table> ○まとめる② 選択した地域についての調べを発表し合い、それぞれの地域の気候とくらしのつながりをまとめる。	新潟県十日町市 ・気候の特色 ・雪から町を守るくふう ・克雪から利雪へ ・十日町市の産業	沖縄島 ・気候の特色と水不足 ・気候を生かした農業 ・自然や歴史を生かした観光 ・沖縄島のかかえる問題	1月	⑧
					新潟県十日町市 ・気候の特色 ・雪から町を守るくふう ・克雪から利雪へ ・十日町市の産業	沖縄島 ・気候の特色と水不足 ・気候を生かした農業 ・自然や歴史を生かした観光 ・沖縄島のかかえる問題		
3	3							

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
3 学 期 22 時 間	1 月 ⑧	もっと知りたい 「低地と高原のくらし」④	●地形・標高の違い が人々の生活や産業 に大きな影響を与え ていることを知る。	○教科書をもとに、低地と高原のくらしや産業 を比べ、その差異が具体的にはどういった条 件によるものかを考え、まとめる。	1 月 ⑧	2 学 期 42 時 間
	5 わたしたちのくらしと環境 14					
	オリエンテーション			○自分たちの住む市区町村における公害問題 や、地球温暖化の問題など、本単元の内容に 関して児童がすでにもっている知識や理解度 を確かめる。		
	2 月 ⑧	1 くらしの環境は、 どのように守られて いるの ⑦	●水俣病の恐ろしさ やその発生原因等に 関心をもち、水俣病 の発生原因と経過、 公害を防ぐための努 力と対策、また、最 近のエコタウンのま ち水俣市の様子を、 地図や資料を活用し て調べ、公害から国 民の健康や生活環境 を守ることの大切さ を考えるようにす る。	○水俣病の発生とその様子について話し合い、 学習の問題をつかむ① 公害をふせぎ、環境を守る努力は、どのよ うに進められているのでしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる⑤ (1) 病気の発生原因と経過 (2) こわされた環境を取り戻す努力と対策 (3) 環境保全への取り組み ・環境モデル都市をめざす ○まとめる① 調べたことをもとにして、公害を防ぎ、環境 を守る努力についてまとめる。	2 月 ⑧	
3 月 ⑥	2 森林は、なぜたい せつなの ⑦	●漁師さんたちが山 に植林をする姿に関 心をもち、森林の働 き、森林を育てる 人々の仕事、森林を 育て、自然を守る活 動、また、地球の森 林を守る活動の様子 について、地図その 他の資料を活用して 調べ、国土の保全や	○森林を守ることと水産業の関係を話し合い、 学習の問題をつかむ① 森林にはどのようなはたらきがあり、森林 を守り育てるためには、どのようなくふうや 努力があるのでしょうか。 *教科書を参考にして、調べることを考える。 ○調べる⑤ (1) 森林のもつはたらき ・森林のはたらき 水資源の涵養、洪水などの災害防止	3 月 ⑥		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
3 学 期	3 月	p.77の森林の役割の図をもとに、森林がもつ自然災害防止の働きを指導する。	水資源の涵養のための森林資源の働きを考えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・木材のもつよいところ (2) 森林の育て方 ・森林で働く人々 ・間伐材の利用 (3) 森林を守る運動 ・林業をさかんにする活動 ・森林管理署の仕事 ○まとめる① 調べたことをもとにして、森林のはたらきや森林を守り育てる努力についてまとめる。 	2 学 期	3 月

第6学年 学習指導計画案

●表現力への対応

各小単元に設けてあるまとめページは、1～2時間扱いになります。新しい学習指導要領で求められている「調べたことや考えたことを表現すること」については、このページでじゅうぶん対応できます。

●第6学年の構成と取り扱い

教科書は、上巻1単元、下巻2単元の3単元構成としています。

1 「日本のあゆみ」

我が国の各時代の主な歴史事象について、人物や遺跡・文化財・写真などを活用して調べ、先人の業績や優れた文化遺産について感心と理解を深め、我が国の歴史や伝統を大切にすることを育てることができます。

このことは、九つで構成している小単元名にも表れています。たとえば、「国の政治のしくみは、どう整えられたの」というように、網羅的で知識偏重の歴史学習からの脱却をめざしました。各小単元ともに、児童にとらえてもらいたい内容を明確に示し、学習の目当てを焦点化して小単元名としました。

歴史は遠い昔のことではなく、身近な暮らしの中にも見られることがわかると、歴史に興味や関心がわいてくるものです。教科書では、巻頭の折込に、東京都足立区の旧日光街道宿場町の事例と、全国各地の遺跡地図を掲載しました。

この中、新しい学習指導要領に対応する内容としては、狩猟・採集の生活については、青森県の三内丸山遺跡の写真を導入にし、学校所在地に点在する縄文時代の遺跡の資料を提示するようにしてください。授業時間数としても増やす方向になります。

また、伝統や文化が重視されることを受けて、p.41～43の室町文化と、p.63～63の江戸文

化についての時間数を増やすことで対応してください。

このほか、世界文化遺産や国宝については、p.20で法隆寺、p.47で姫路城、p.53で日光東照宮を取り上げています。

2 「わたしたちのくらしと政治」

政治の働きや仕組みについて調べ、国民生活と関連して、政治は国民生活の安定と向上を目指す大切な働きをしていること、また、その政治は、日本国憲法の基本的な考え方に基づいて進められていることを考えることができます。

子育てを支援する東京都江東区の施設を事例にして、児童が政治のはたらきを具体的に理解できるようにしました。

新しい学習指導要領では、「国会・内閣・裁判所の三権相互の関連」を取り扱うことになりましたが、p.8～11で三権を同等の分量で取り上げています。

3 「世界の人々とわたしたち」

世界の人々と共に生きていくためには、異文化や習慣を理解し合うことが大切であること、また、世界の平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えることができます。

●今日の社会的課題

人権・福祉の問題については、上巻で、身分制度の廃止の歴史的な背景について丁寧に記述しました。また、人権学習の教材として、下巻でハンセン病を取り上げました。これは、新しい学習指導要領が求めている社会保障への切り口の一つになります。

また、下巻では、学校生活や家庭生活、国際協力などの具体的な事例を通して、異なる国や地域の文化や習慣を理解し、世界の人々と協調できる児童を育てる教材を配しました。

3学期制		単元・小単元	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制			
学期	月	○数字は予定授業時数			月	学期		
1 学 期	4 月	1 日本のあゆみ 72			4 月	⑦		
		歴史を伝えるもの ④	●身近な地域に残された文化財や全国各地の遺跡、歴史資料などを活用して調べる学習方法を身につけ、歴史に対する興味・関心を養う。	○身近な地域の歴史事象や全国に残る歴史的文化遗产や遺跡を調べる。 ・身近な地域に残っている、歴史を語るいろいろなものを調べる。 ・国土全体にも、歴史を語る文化財や遺跡が見られることを調べ、話し合う。 ・調査を通して、歴史を学ぶ楽しさを話し合う。			1 学 期	50 時 間
		第1小単元に入る前に、縄文遺跡に関する指導を行う。 配当2時間						
1 米づくりは、世の中をどう変えたの ⑦	●吉野ヶ里遺跡や古墳などの遺跡に関心をもち、米づくりのむら、各地にできた「国」、古墳と国土の統一、渡来人のもたらした文化などについて調べ、農耕の始まりとくらしや社会の変化、大和朝廷による国土の統一などが分かり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	○復原された吉野ヶ里遺跡の写真や想像図などをもとに、当時の生活の様子について話し合い、学習の問題をつかむ① 米づくりが始まると、人々のくらしや社会のようすは、どのように変わっていったのでしょうか。 ○調べる⑤ ・農耕の遺跡 ・「国」のおこり ・各地の豪族と国土の統一 ・渡来人の伝えた技術 ○まとめる① 調べたことをもとに、米づくりと社会の変化についてまとめる。						
5 月	2 国の政治のしくみは、どう整えられたの ⑧	●聖徳太子の願いやその後の国の歴史に関心をもち、大化の改新、聖武天皇と大仏建立、また、平安時代の貴族の生活などについて調べ、天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化がお	○法隆寺の写真や十七条の憲法などの資料をもとに、聖徳太子の政治の様子について話し合い、学習の問題をつかむ① 大和朝廷による国土統一のあと、国のしくみは、どのように整えられていったのでしょうか。 ○調べる (1) ③ ・奈良の都の様子 ・聖武天皇の願いと大仏造営	5 月	⑨			

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
1 学期	6 月 ⑩	もっと知りたい 「国分寺」	こったことが分かり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	○調べる (2) ③ ・正倉院の宝物 ・貴族のくらし ○まとめる① 調べたことをもとに、天皇中心の政治についてまとめる。	6 月 ⑩	1 学期 50 時間
		3 武士の政治は、どう進められたの ⑧	●源平の戦い、武士による政治の始まりに関心をもち、鎌倉幕府の始まり、武士と農民のくらし、元との戦い、また、室町時代のくらしと文化の広まりについて調べ、武士による政治が始まったことや室町文化が生まれたことが分かり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	○壇ノ浦の戦いや鎌倉街道の写真・地図などをもとに、武士の政治がどう進められたかについて話し合い、学習の問題をつかむ① 武士は、どのような政治をおこない、どんな文化を築いたのでしょうか。 ○調べる (1) ③ ・源平の戦いと鎌倉幕府の成立 ・農村に住む武士のくらし ・元との戦いと御家人 ○調べる (2) ③ ・くらしの変化 ・文化の広まり ○まとめる① 調べたことをもとに、武士の政治についてまとめる。		
		4 戦国の世は、どう統一されたの ⑦	●長篠の戦いや戦国の世の統一に関心をもち、天下統一を進めた信長、天下統一をなしとげた秀吉、全国支配を固めた家康について調べ、戦国の世が統一されたことが分かり、国の	○長篠の戦いや姫路城の写真をもとに、戦国の世の中の様子について話し合い、学習の問題をつかむ① 戦国の世は、どのようにして統一されていったのでしょうか。 ○調べる④ ・織田信長の統一事業とキリスト教伝来 ・豊臣秀吉の天下統一と朝鮮侵略		

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
			歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	・徳川家康の天下継承と江戸開幕 ○まとめる② 調べたことをもとに、天下統一の様子をまとめる。		
2 学 期 9 月 4 4 時 間	9 月 ⑪	5 「徳川の世」は、どんな世の中だったの ⑧ 町人文化や新しい学問についての指導をより充実させる。	●大名行列や徳川の世のしくみに関心をもち、幕府による身分制度の確立、貿易の取りしまり、町人の文化、新しい学問のおこりについて調べ、身分制度が確立し武士による政治が安定したこと、町人の文化が栄え新しい学問がおこったことが分かり、国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	○將軍に挨拶する大名の写真や大名の配置図などの資料から、徳川氏と各地の大名との関係について話し合い、学習の問題をつかむ① 徳川氏によって、どんな世の中の中のしくみがつくられたのでしょうか。 ○調べる (1) ③ ・大名の支配 ・身分による支配と人々の生活 ・キリスト教と貿易統制 ○調べる (2) ③ ・大阪・江戸の繁栄と町人文化 ・国学と蘭学 ○まとめる① 調べたことをもとに、徳川氏の政治についてまとめる。	9 月 ⑪	1 学 期 50 時 間
		もっと知りたい「塩づくり」		・製塩地、赤穂 ・製塩法の発達 ・製塩と藩の財政		
		6 黒船の来航は、世の中をどう変えたの ⑧	●黒船の来航とその後の世の中の動きに関心をもち、倒幕運動と明治維新、近代国家をめざす諸改革、社会のしくみの変化、文明開化などについて調べ、明治政府は廃藩置県や四民平等などの諸改革	○黒船の来航図や日米修好通商条約などの資料をもとに、黒船来航以後の幕府の動きや幕府に対する不満について話し合い、学習の問題をつかむ① 幕府をたおそうとした人たちは、どんな日本を築こうとしたのでしょうか。 ○調べる⑥ ・黒船来航と江戸幕府の終末 ・明治維新		

3 学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2 学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期	11 月 ⑫		が分かり，国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	についてまとめる。	11 月 ⑫	2 学 期 50 時 間
		もっと知りたい 「忘れられないあの日」		<ul style="list-style-type: none"> ・東京大空襲 ・沖縄の地上戦 ・原子爆弾の投下 		
		9 平和な世界をめざし，どうあゆんでいくの ⑦	●終戦直後の新しい国づくりに関心を持ち，日本国憲法の制定，独立の回復，オリンピックのころの様子などについて調べ，戦後わが国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上したこと，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かり，国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。	○終戦直後の写真をもとに，戦後の人々の暮らしの様子について話し合い，学習の問題をつかむ①		
				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">戦争が終わったあとの日本は，どんなあゆみをしていったのでしょうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○調べる⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の制定 ・独立の回復 ・オリンピックの時代 ・共生の社会 ○まとめる① 調べたことをもとに，戦後の平和な国づくりの努力をまとめる。 		
	12 月 ⑨	・年表と時代の区分		○年表とは何か，巻末の年表を見て話し合う。 ○時代の区切り方を話し合う。 ○年表を読むには，どんなところに気をつけたらよいかを話し合う。	12 月 ⑩	
		2 わたしたちのくらしと政治 13				
		オリエンテーション		○本単元の内容に関して，児童がすでにもっている知識や理解度を確かめる。		
		1 政治って，何だろう ⑥	●人々のくらしを高めるための政治の働	○教科書の資料をもとに，こうした施設ができるまでの政治のはたらきについて話し合い，		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
2 学 期 44 時 間	12 月 ⑨	国民の司法参加を 取り上げる。	きに 関心 をもち、 人々の 願い を実現 する 地方 公共 団体の 働き や国の 支援、 国の 政治の 働き、 国会・ 内閣・ 裁判所 の働き と三権 分立に ついて 調べ、 政治は 国民生 活の安 定と向 上を図 るため に大切 な働き をして いるこ とを考 えるよ うにする。	学習の 問題をつ かむ① 人々の くらし を高め るため に、政 治はど んなは たらき をして いるの でしょ うか。 ○調べる (1) ① ・地方 公共団 体のは たらき ○調べる (2) ③ ・国会 と内閣 のはた らき ・裁判 所のは たらき 、三権 分立 ○まと める① 調べた ことを もとに 、政治 のはた らきを まと める。	12 月 ⑩	
			2 日本国憲法には、 どんな 特色が あるの ⑦ 導入部 で「法 」と「 憲法」 がなぜ 定めら れてい るのか を考え させる。	●日本 国憲法 の三つ の原則 に関心 をもち 、国民 主権、 平和主 義、基 本的な 人権の 原則に ついて 調べ、 日本国 憲法の 特色と わが国 の民主 政治は 日本国 憲法の 基本的 な考え 方に基 づいて いるこ とを考 えるよ うにする。		
3 学 期 22 時 間	1 月 ⑦	もっと 知りたい 「災害 がおき たとき の政治 のはた らき」	・地方 公共団 体と国 の働き ・助け 合う地 方公共 団体 ・もし 東海地 震がお きたら			
2 月 ⑨	2	3 世界の 人々と わたし たち 15			2 月 ⑨	
		オリエン テーシ ョン		○本単 元の 内容に 関して 、児童 がすで にもっ ている 知識や 理解度 を確か める。		
		1 世界 には、 どんな 人々の くらし が見ら	●日本 とつな がりの 深い国 々の人 々の生	○日本 と諸外 国との つなが りを示 す資料 をもと に、日 本と深 い関係 のある 国々に ついて の話		

3学期制		単元・小単元 ○数字は予定授業時数	小単元の目標	おもな学習活動	2学期制	
学期	月				月	学期
3 学 期	2 月	<p>れるの ⑧</p> <p><アメリカの人々のくらし>⑤</p> <p><韓国の人々のくらし>⑤</p> <p><サウジアラビアの人々のくらし>⑤</p> <p>※児童各自の興味に応じて、3か国の内から1か国を選択して学習する。</p>	<p>活に関心を持ち、アメリカ、韓国・サウジアラビアの国々を調べ、それぞれの国には日本と違った独自の生活や文化が見られること、共に生きていくには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを考えるようにする。</p>	<p>し合いを通して学習の問題をつかみ、自分の調べたい国を決める①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日本とつながりの深い国の人々は、どんなくらしをしているのでしょうか。</p> </div> <p>○調べる（調べる項目についてはクラスで話し合い、各国共通化する）⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣・食・住 ・学校や家庭での生活 ・日本との関係 <p>○まとめる②</p> <p>選択した国についての調べを話し合い、日本と関係の深い国々の様子をまとめる。</p>	2 月	2 学 期
		<p>2 平和を守るために、どんな努力をしているの ⑦</p>	<p>●世界の平和を守る活動に関心を持ち、日本の国際交流の様子、ユニセフと国際連合の働き、日本の国際協力の様子などについて調べ、世界平和の大切さとわが国が世界において重要な役割を果たしていることを考えるようにする。</p>	<p>○世界の平和を守るさまざまな活動について話し合い、世界平和を守るどんな活動がどう進められているかという学習問題をつかむ①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>世界の平和を守るために、どんな努力や活動があるのでしょうか。</p> </div> <p>○調べる（1）③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の願い ・子どもたちを救うユニセフの活動 ・世界の平和を守る国際連合の活動 <p>○調べる（2）②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国際協力と世界の国々 <p>○まとめる①</p> <p>調べたことをもとに、世界の平和を守る努力についてまとめる。</p>		
	3 月	⑥	<p>社会科の学習をふり返って</p>	<p>・わたしのボランティア体験</p>	3 月	⑥